



令和8年度 高石市施政方針

1	市制施行60周年	P.2~5
2	高石市の物価高対策	P.6
3	短期・中期・長期ビジョン	P.7
4	明日の担い手を育む	P.8~11
5	みんなで支え合い、健やかに過ごせる	P.12~14
6	安全・安心で快適に暮らせる	P.15,16
7	人を惹きつける魅力と活力があふれる	P.17~19
8	持続可能なよりよい未来へつなぐ	P.20~22
9	予算編成にあたって	P.23

方針

【温故知新】 **歴史**（先人への敬意）と **創造**（未来への挑戦）を軸とし、市民の意識が一丸となる周年を目指す

「記念のための記念にしない」周年という機運を最大限活かし、各政策効果が持続、または高まることを目的とする

テーマ

高石市の **文化芸術・スポーツ** を陶冶し、周年を機に文化のまちづくりを推進する

ロゴマークとキャッチフレーズ



音にきく60回目のありがとう

ヨシ・シスレー氏による制作で、多角的な活用を検討

その一環として、婚姻届などに本ロゴマークを添え、市役所からの祝意をかたちとして届ける取組を進める



中山初代市長が市役所表示板を掲示



高架化前の高師浜線（高師浜1丁目付近）



デジタル社会の進展

防災、介護、子育てなど、人生の大事なステージにおいて、デジタルの検索結果は「解答」を教えてくれても、「居場所」を与えはしない

また、デジタル資産の価値が高まるほど、複製不可能な「その場でしか味わえない生きた体験」の価値が再評価されていく



高石市のポテンシャル

高石市が誇るべき文化芸術・スポーツにおける多くのプロの存在は、市民の誇りであり、こども達に夢を与える

だんじりという地域固有の文化に加え、駅前に文化ホールがあり、活発な公民館活動やスポーツ施設が集積している高石市は、日常生活そのものが文化芸術・スポーツの活動拠点となっている



文化芸術・スポーツをまちの鼓動にする

文化芸術・スポーツを通じた活動は経済合理性や利便性からは培われない現代社会の課題に対する処方箋として期待される

受動を能動に変える力、例えば「健康のために社会参加しなさい」では行動変容に繋がりにくいものだが、「舞台上で歌おう」という目的があれば自発的な行動につながる。福祉、教育、防災、コミュニティなどの基盤的存在になるのが文化芸術・スポーツである

1 [新]事業始動

高石市民の芸術祭
～Takaishi Civic Art Festival～の開催

文化芸術・スポーツをテーマに、60年の歩みで培われた資源や価値を大切にしながら、新たな価値を創出する市民参加型のイベントを開催

高石市の「**これからの10年**」につながる**創造性**を取り入れた未来を感じさせるプログラムを展開



※イメージ

2 [新]事業始動

名誉市民に濱野まいか選手を

・なでしこジャパンやイングランドウィメンズスーパーリーグでプロサッカー選手として活躍

- ・2022年FIFAU-20女子ワールドカップ大会最優秀選手
- ・2024パリ五輪ベスト8メンバー
- ・2025年AFC女子国際最優秀選手賞

■高石市での取組

- ・小学校へサッカーボールの寄贈
- ・母校高南中学校での講演会



↑市役所でのサイン会の様子

3 [新]事業始動

60周年記念高校連携事業

学校を跨いだ地域の高校生の参画により地域コミュニティを醸成し、地域の担い手確保や関係人口の増加につなげる
記念事業の準備・調整段階から実施までを市職員や地域人材と連携した「実践的な社会体験」



←R7.3月に開催された羽衣学園高校×高石高校×高石市の協働イベント「高校生とフェスティバル！」の様子

4 [新]事業始動

台湾高雄市鼓山区との友好都市提携に向けて

進展する国際化に順応していくため、海外との連携をより強化し、国際的な視野を広げていくまちづくりを推進

アメリカカリフォルニア州ロミタ市との姉妹都市交流、マダガスカル共和国との大阪・関西万博を契機とした交流に加え、より身近な近隣アジア地域にも目を向け交流を開始



↑鼓山区鄭明興（ティメイコウ）区長と

5 [新]事業始動

子どもの安全見まもり隊への特別表彰

長年、地域のこどもの安全確保に尽力されている子どもの安全見まもり隊へ、今回、感謝の意を込め、特別表彰を授与



6 [新]事業始動

kencomによる健康チャレンジ60

kencomを活用し、60日間で60万kmをみんなで協力して踏破するチャレンジイベントを開催し、健康づくりの習慣化を図る
また、kencomのデジタルマップ機能により、市内で開催される記念事業にポイントを付与することで、外出・社会参加の促進、賑わいの創出を図る

7 [新]事業始動

こどもたちで高石市制60周年を祝おう

- 高石の未来の絵画展
高石の未来をテーマに、こどもたちが絵を描き、文化祭期間中に優秀な作品をアプラに展示
- 人文字
市立3中学校運動場で、生徒が人文字をつくり、ドローンで動画を空撮
人文字動画をアプラでの式典会場で放映

8 [継]着実推進

万博レガシーの活用

■ 本市が大阪・関西万博における単独出展イベントで、市出身アーティストのヨシ・シスレー氏と共創し、文化芸術振興の観点から、継続的な連携へと発展

■ マダガスカル共和国との交流を通じ、同国産バニラを使ったジェラート開発（ふるさと納税返礼品）や中学生がマダガスカルの方々と万博会場で合唱し、国際交流を体感
さらに、企業版ふるさと納税による支援により令和8年度以降も交流を深化

■ 大歳公園、八幡公園、北公園で大阪・関西万博で使用された木の植樹イベントを行い、公園への親しみや愛着の醸成を図るとともに、公園で活動する人材の発掘に取り組む

■ 万博会場で使用された給水スタンドを、市立小・中学校全校に配置し、熱中症対策の強化と同時にマイボトルの活用を通じて使い捨てプラスチック削減を促し、循環型社会の理念を根付かせる





	予算	財源	ねらい
1.プレミアム付き電子商品券	1月補正 172,313千円	物価高騰臨時交付金	生活者支援と消費活性化
2.水道基本料金の全額減免(6ヶ月)	1月補正 80,423千円	物価高騰臨時交付金	生活者支援
3.保育施設等物価高騰対策助成事業	1月補正 16,157千円	物価高騰臨時交付金	利用者と事業者支援
4.物価高対応子育て応援手当	12月専決 186,149千円	子育て応援手当補助金	子育て世帯支援
5.医療介護障がいの事業所への補助	当初予算 57,784千円	物価高騰臨時交付金 一般財源	利用者と事業者支援
6.地域内で利用可能な紙の商品券配付	当初予算 194,828千円	物価高騰臨時交付金 一般財源	生活者支援と消費活性化
7.小中学校の給食無償化	当初予算 271,522千円	給食費軽減交付金 一般財源	子育て世帯支援
8.保育所等紙おむつの無償化事業	当初予算 12,312千円	高石っ子基金	利用者と事業者支援
9.補聴器購入助成金事業	当初予算 1,000千円	一般財源	利用者支援
合計	992,488千円		



ビジョン

主な政策

短期中期的
ビジョン

**人口減少の歯止め政策
と適応政策の展開**

歯止め政策：人口減少の速度を一定抑制させる目的
適応政策：影響を最小化させる持続可能なシステムの構築

こども未来部の設置
フレイル予防
空き家制度 など

短期中期的
ビジョン

**将来の担い手に
縦糸を紡ぐ**

生成発展し続ける組織へ
次世代を支える教育の確立

たかいし学校創生基本構想
人材育成 など

短期長期的
ビジョン

**文化芸術・スポーツを
まちの鼓動にする**

心を豊かにする文化芸術・スポーツの推進

高石市民の芸術祭
～Takaishi Civic Art Festival～
60周年記念文化祭 など

中期長期的
ビジョン

**自然と経済の
共生モデルを構築**

市域面積の半分を占める工業地帯と良質な住環境の共生を進め、シックプライドの醸成をはかる

砂浜活性化プロジェクト
脱炭素の推進 など

普遍的
ビジョン

**居場所と役割が
感じられる社会作り**

豊かさとは「居場所と役割が感じられる社会」と普遍的な価値として位置付け、その政策を推進する

こどもの居場所づくり事業
孤立ゼロプロジェクト など

1 [新]組織強化

こども未来部の設置

こども政策を迅速かつ効果的・効率的に推進するため令和8年4月より教育委員会事務局内に設置
こども家庭庁との人事交流をスタートさせ、本市独自の先進的なこども支援施策の立案や戦略的な財源確保に努める

2 [新]事業始動

保育所等紙おむつの無償化事業

全国的にも少ない取り組みとして、市内保育所等において**紙おむつ等の持参を不要とし、かつ、無料とする**ことにより保護者の負担軽減と利便性のさらなる向上を図る

3 [新]事業始動

こども誰でも通園制度

保護者の就労状況等にかかわらず、乳児期から切れ目のない子育て支援を実施するため、多様なかかわりの機会を確保
 家庭と地域でつながる子育て支援体制の構築を進める

4 [新]事業始動

取石で初の子育て拠点を整備

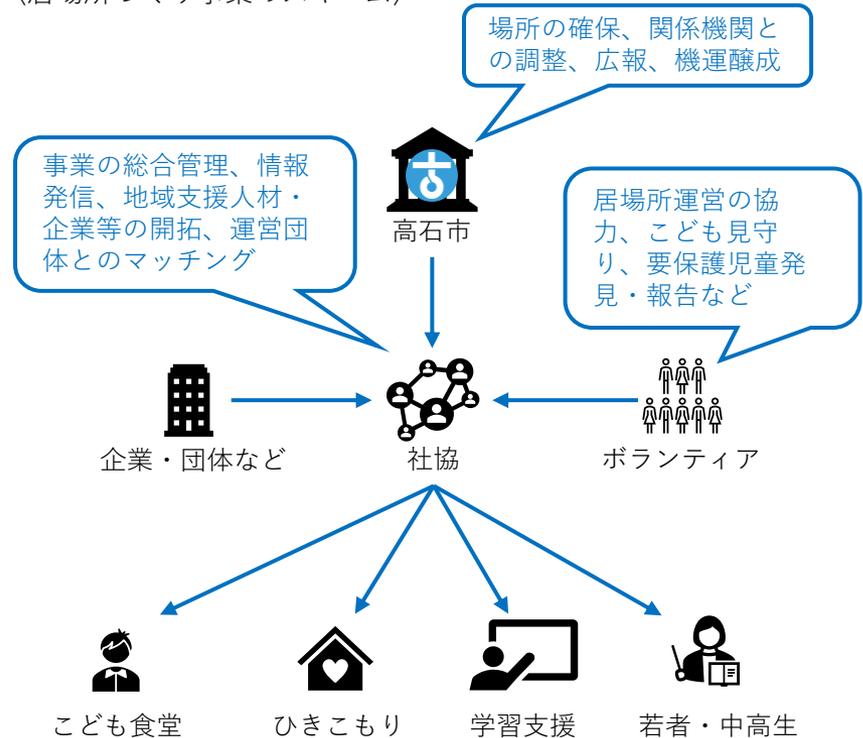
取石地域では子育て世代が増加している一方で、地域内に気軽に相談や交流ができる拠点が整備されていない状況にある
 そこで、**とろしプラザ3階を活用し、取石地区で初となる子育て支援センターを設置**
 これにより、子育て中の親子が安心して集い、相互に交流を深めるとともに、子育てに関する不安や悩みを気軽に相談できる場を整備するものである

5 [新]事業始動

こどもの居場所づくり事業

様々な家庭環境で暮らすこども達が気軽に利用できる、地域の居場所での多様な交流を創出
地域住民のコミュニティへの参画や**ボランティア活動の促進**や**活躍の場**の創出

〈居場所づくり事業のスキーム〉

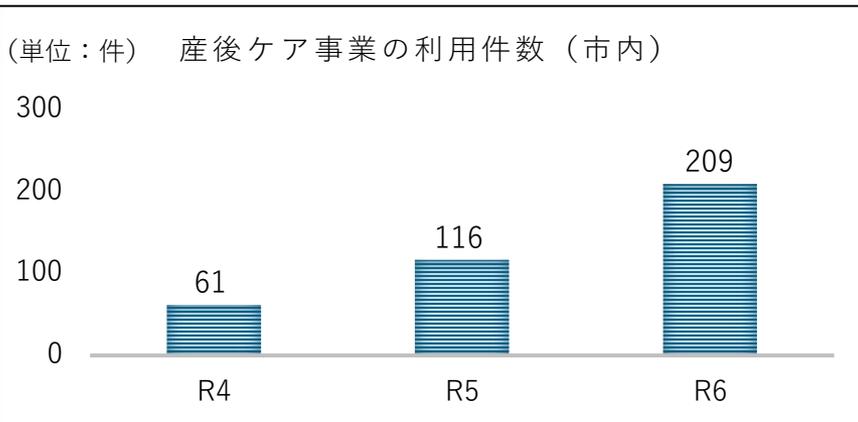
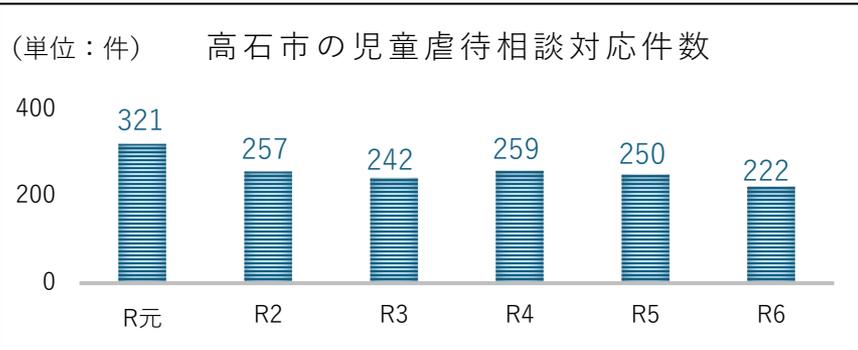


6 [継]着実推進

こどもすこやかセンターと産後ケア事業

令和6年度に高石市こどもすこやかセンターを設置し、母子保健と児童福祉を一体化して、切れ目のない包括的・継続的な相談支援を実施

産後ケア事業は、これまで高石市立母子健康センターでの利用を中心としていたが、令和8年度からは利用可能な施設を大阪府内の施設に拡充することにより利便性の向上を図り、出産後の母親の心身の回復を支援する



7 [新・継]着実推進

待機児童対策

待機児童発生の一因となっている保育士不足に対応するため、令和6年度から保育士就職支援補助事業を実施しているが、それに加え、**施設的な供給能力を格段に向上する**ため、以下の整備を行う

〈保育士就職支援補助事業の実績〉

R6年度		R7年度	
16人	1,440,000円	22人	1,980,000円

時期～	整備の内容	場所
令和8年4月～	小規模保育事業所	総合保健センター
令和9年～	施設建替	東羽衣こども園
令和9年～	小規模保育事業所	未定

8 [継]着実推進

松の実園延長支援事業

療育が必要な子どもに療育を受ける機会を失わせないため、児童発達支援センター松の実園において、こどもをお預かりする時間を延長する延長支援事業を開始
今後、必要に応じて、制度をよりよく改善するよう検討

9 [新]事業始動

三宅みらい教育基金活用事業

令和8年度は、児童生徒の熱中症や脱水症状の予防のため、大阪・関西万博で使用した**給水スタンドを小中学校全校に設置**
各小中学校の学校運営における独自の取組みを推進するため、校長裁量予算として予算を配付し、児童会生徒会の要望や体験活動、授業改善などを通して、こどもたちに直接還元する**校長マネジメント支援**事業を創設

10 [新]事業始動

デジタル社会に向けた学校教育

令和7年度から小学校1校、中学校1校にて、ICT等を活用した授業実践について研究・普及を進めている。令和8年度以降は、第2期「TAKAISHIスタイル」のもと、**デジタル・アナログ双方を効果的に活用**した協働的な学びや個別最適な学びを推進
令和7年度より生成AIを活用した英作文学習の実践研究を行っている。令和8年度以降は、生成AIが教育現場で正しく効果的に活用されるよう生徒・教職員のAIリテラシー、AI活用能力の向上を図る

11 [新]事業始動

学校給食の保護者負担の軽減と児童生徒の健康増進

令和6年度から中学校給食の無償化、小学校給食の物価高騰分の補填を実施してきたが、令和8年度からは小学校においても給食費負担軽減交付金を活用し、また**同交付金の上限を超えた高騰分に対しても補助を行い、実質無償化を実施**

また、令和8年1月にコメの安定確保に向けた消費地と生産地の連携スキームに参画する協定を泉大津市と締結
これにより、有機JAS米等オーガニック食材を導入し、独自の精米加工技術による栄養豊富で消化性に優れたコメを学校給食で提供し、児童生徒の健康増進を図る

共同調達の仕組み

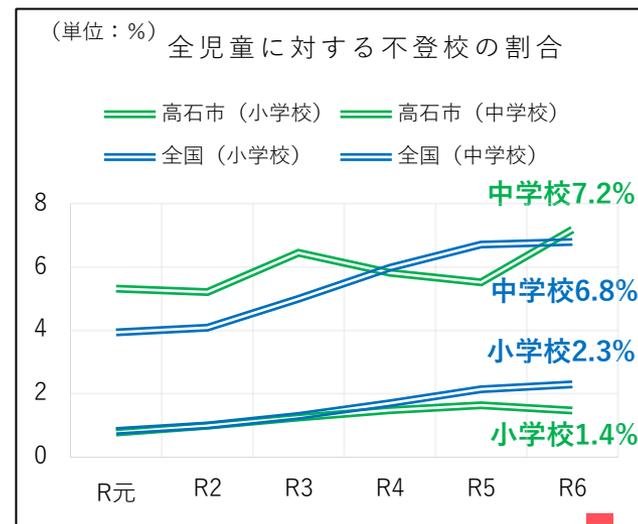


12 [継]着実推進

市立全小中学校に設置

令和7年度に校内教育支援ルームを小学校全校・中学校1校に設置（支援員は教員資格所持者）し、不登校児童生徒数が増加傾向であった小学校は減少に転じているが、中学校は令和4年度以降、増加傾向となっている。**令和8年度から全ての小中学校に校内教育支援ルームを設置し**、寄り添う教育相談、ICTを活用した個別学習やオンライン授業等を実施し、安心して過ごせる居場所としての充実を図る

教員と保護者だけでなく、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家とも連携を行い、児童生徒のアセスメントや個々の状況に応じた支援を引き続き実施

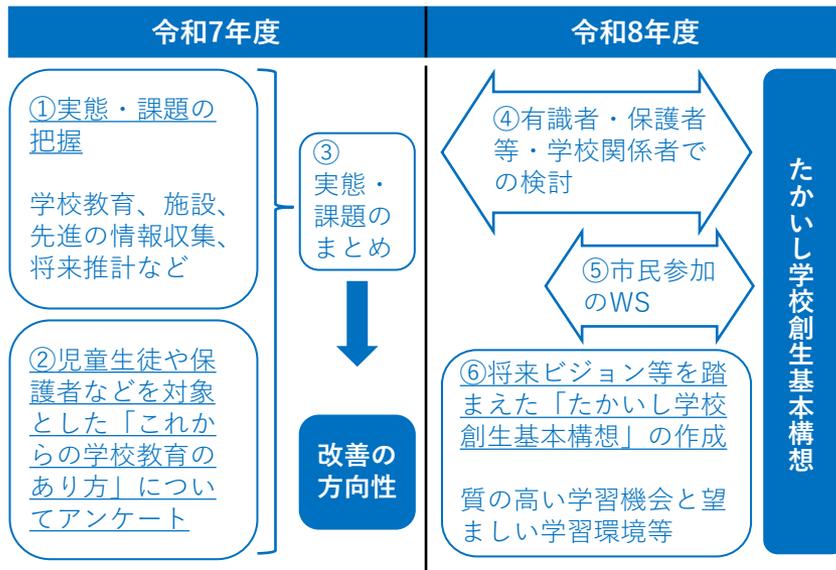


13 [継]着実推進

たかいし学校創生基本構想
～まちを元気にする学校～をめざして

令和7年度に実施したアンケート調査や検討の成果を踏まえ、令和8年度においては有識者・保護者代表・学校関係者で構成する検討の場や市民参加ワークショップなどでいただいたご意見をもとに“まちを元気にする学校”をめざす

〈進捗イメージ〉



14 [新]更新整備

高師浜総合運動施設の人工芝改修

令和7年度に高師浜運動施設の照明の更新工事を行ったが、摩耗が進んでいる同施設の運動広場及びテニスコートの人工芝の改修を行い、スポーツ活動の推進を図る

15 [新]事業始動

文化財の保存、活用に向けて

令和8年2月に文化財保護審議会を設置し、将来の文化の向上発展の基礎となる文化財の保存、活用等に向けて、市指定文化財の指定手続きを進める

16 [継]着実推進

校庭の開放

令和7年度より試行的に高石小学校で校庭を開放する事業を開始他校での実施に向けて、校庭開放を通じて地域との交流を図れるよう、引き続き研究していく

17 [新・継]事業始動

人権施策の展開

令和7年度からインターネット上の差別書き込みや人権侵害に対するモニタリングを実施し、差別事象の発見、削除要請の取り組みを進めてきた

DVの相談件数が年々増加し、その内容も多様化、複雑化している。令和6年度から女性相談支援員による相談を実施し、関係機関との連携をより強め、支援を必要とする市民へ確実に支援が届くよう包括的かつ切れ目のない「つながり続ける」支援体制に努めている

令和8年度は、第3次高石市男女共同参画計画の策定年であり、性別に関わらず、ジェンダー平等の社会に向けて、取り組んでいく

1 [継]着実推進

ずっと好きなことしたいプロジェクト

年齢を重ねても、住み慣れた高石で自分らしく、好きなことを続けながら暮らしたい――

その時間をできるだけ長く確保することが、これからのまちづくりでは重要な視点となる

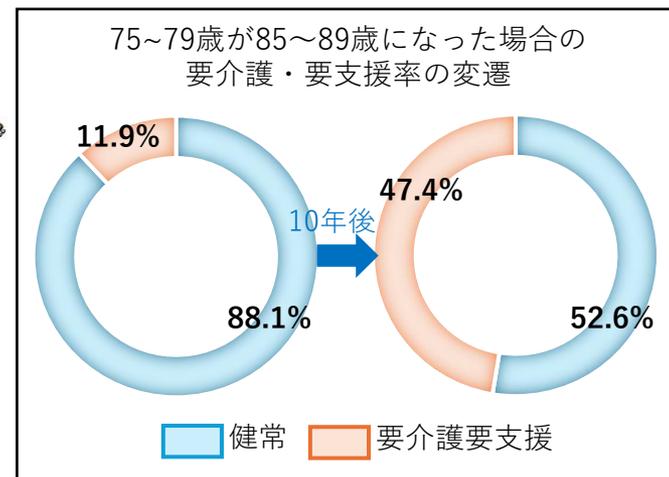
例えば団塊の世代と言われる75～79歳の要介護支援率は約11.9%だが、10年後の85～89歳で

は約47.4%に上昇するとされ、年齢とともにリスクは大きく高まる（右図参照）

だからこそ、支える体制の強化だけでなく、そもそも**要介護となる時期をできる限り**

遅らせることが個人・地域ともに持続可能な社会に近づく一歩となる

市民一人ひとりが自らの状態に気づき、行動につなげることで、「ずっと好きなことができる人生」を支える――それが本プロジェクトの出発点である



新しく要介護・要支援状態を受ける年齢を少しでも遅らせるために

少子化・高齢化が進む中、年齢を重ねても住み慣れた地域で自分らしく暮らしたいという市民の願いはますます高まっている一方、フレイル（心身の活力低下）は自覚しにくく、放置すれば要介護状態へと進行するリスクを抱えている

フレイル予防には、「栄養（食・口）」「運動」「社会参加」の3つをバランスよく実践することが重要で、高齢期に入っても好きなことを続けたいと願いながら、兆候に気づかず活動が制限されるケースもそのため、**自らの状態を知り、早期に気づき、行動につなげる機会を確保**することで、要介護になる時期をできる限り遅らせるとともに、ウェルビーイングの実現を目指す



東京大学高齢社会総合研究機構 飯島勝矢氏 ↑

支援が必要な時に備えて、在宅医療・介護連携の構築を

在宅医療・介護連携は、日常的なフレイル予防に対し、将来的に支援が必要となる時期に備え、**市民の命と暮らしを切れ目なく支える“地域の安全網”を構築**するもの

病床の逼迫、介護人材不足が進む中、その必要性を事業者と共有し、連携を自分ごとに市内の医療・介護資源を見える化し、顔の見える関係を築くとともに、入退院時の情報共有の標準化など実効性あるルールを整備

さらに、連携プラットフォームを設置し、継続的な協議と改善を重ねることで、持続可能で強固な連携体制を確立し、地域資源マップなどを作成

医療関係者及び介護関係者等と一
在宅医療介護連携のシンポジウム



2 [新]事業始動

補聴器購入助成金事業

「聞こえ」の改善は、会話や社会参加を支える重要な要素であることから、令和8年度より補聴器購入を支援する助成制度を開始。補聴器の利用促進により、難聴高齢者等のコミュニケーションの円滑化を図り、社会参加や地域交流の促進により、社会的孤立の防止や認知症予防、フレイル予防につなげる

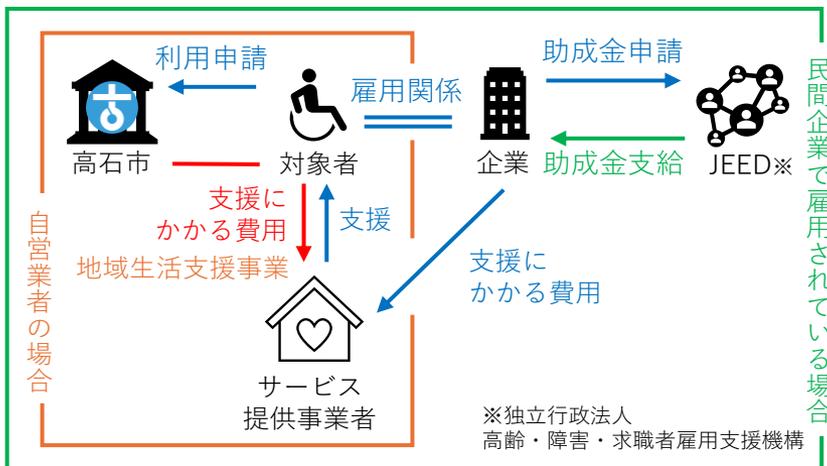
対象40歳以上の高石市民（生活保護・非課税世帯）
補助額：25,000円（上限）

3 [新]事業始動

重度障がい者等就労支援特別事業

令和8年度より就労の意思がありながら、障がいを理由に就労の継続が困難な重度障がい者等に対し、通勤や職場での支援を行うことにより、就労機会の拡大、社会参加の促進を図る

〈事業スキーム〉



4 [継]着実推進

手話言語・コミュニケーション条例関係事業

令和7年度より実施している小中学校での手話体験講座やコミュニケーション支援ツールの購入助成等を引き続き実施するとともに、令和8年度よりアプラたかいしをブルーライトアップさせる等の啓発活動を通じて、障がいの有無に関わらず誰もが互いを尊重し合う共生社会の実現をめざす

5 [継]着実推進

孤立ゼロ

社会的孤立は、「好きなこと」を続ける力を弱めてしまう大きな要因である。このため、令和4年度から実施している高石市内全世帯を訪問する「孤立ゼロプロジェクト」を引き続き推進し、社会福祉協議会や地域ボランティアの皆さまと連携しながら、支援を必要とする方と早期につながる体制を強化していく

〈年度別訪問実績と支援につなげた世帯数〉

年度	訪問実績（世帯）	生活課題がみつきり支援につなげた世帯
令和4年度	5,477	60
令和5年度	4,186	27
令和6年度	4,474	54
令和7年度※	4,645	49
計	18,782	190

※令和7年度は令和8年1月1日現在

6 [継]着実推進

健康アプリkencomをもっと利用してもらえるように

年齢を重ねても、好きなことや大切にしてきた暮らしを続けられるよう、若年層からの健康に対する意識づくりを啓発するため、健康アプリkencomの利用を促進

令和7年度より対象を**19歳以上の全市民に拡大し、健康ポイントをインセンティブとして、特定健診や健康イベント時に付与し参加を促している**

また、スマートフォンの操作が苦手な方向けにkencomアプリの使用方法等の説明会を適宜開催し、令和8年1月末現在で4,300人以上の方々に登録いただき、好評を得ているところ引き続き、kencomの利用促進を図るとともに、健康に資する事業にポイントを付与し、市民の健康づくりを促進

楽しみながら、健康に。

kencomってこんなアプリ!

- 歩数・体重・血圧などを記録・管理できる
- 自分に合った健康情報が届く
- 日々の健康行動でポイントが貯まり、各種デジタルギフトに交換できる
- 健診結果がスマホで見られる



〈ポイント事業比較表〉

	R6年度	R7年度
利用人数	上限4,000人	上限なし
入会金	500円	なし
運営経費 (予算ベース)	約5,400万円	約3,000万円

7 [継]着実推進

ボランティアポイントで地域の担い手を守る

地域での役割や生きがいを支えるためボランティアポイント事業（ちょこっとたすけあいサポーター支援事業）を拡充し、こども食堂や見守り活動など、幅広い世代が地域福祉活動に参加できる環境を整備する

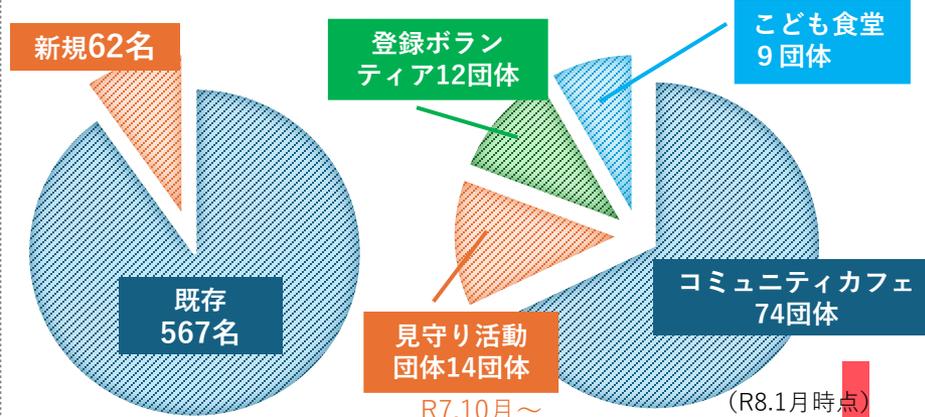
ポイントアプリを導入し、活動の継続と利便性の向上を図る

〈ボランティアポイントの概要〉

対象者	高石市内在住・在勤・在学の40歳以上の方
対象となる活動	いきいきサロンの運営支援 コミュニティカフェの運営支援 こども食堂・地域食堂の運営支援 高齢者・障がい者児の見守り訪問活動（R7.10月から） など
ポイント	1回の活動につき1ポイント 5ポイントにつき、1,000円分のたかいし共通商品券と交換

ポイント登録者(n=629)

受入団体(n=109)



1 [新]事業始動

災害発生時の情報発信体制の強化

屋外でも視覚的に災害情報や緊急時の情報等を取得できるよう、南海羽衣駅自由通路、JR富木駅西口、綾園7丁目しなの通りの**市内3ヶ所にデジタルサイネージを設置**

高石都市開発株式会社と災害時における情報伝達の協定を締結し、**アプラたかいし設置のデジタルサイネージも活用可能に**

さらに**重度の障がいをお持ちの方等に戸別受信機を配布**し、確実に情報を取得できる体制を構築

2 [継]着実推進

災害用備蓄品の進捗

大阪府備蓄方針に基づく府指定重点11品目のうち10品目については充足しており、簡易ベッドやパーテーション等の避難所生活のQOL（生活の質）の向上についても引き続き備蓄を進める令和7年4月に改正した高石市地域防災計画の避難者数が増加のため、引き続き、交付金等を活用し、さらなる拡充を図る

	品目	備蓄状況
1	食料	達成済み
2	高齢者食	達成済み
3	毛布	R10年度達成予定
4	ほ乳瓶	達成済み
5	乳児用ミルク	達成済み
6	乳児・小児用おむつ	達成済み
7	大人用おむつ	達成済み
8	簡易トイレ	達成済み
9	生理用品	達成済み
10	トイレットペーパー	達成済み
11	マスク	達成済み

3 [継]着実推進

防災訓練

令和7年度に南海トラフ巨大地震を想定した避難訓練と次世代の防災の担い手の確保に向けた体験型防災訓練「イザ！カエルキャラバン！」とのハイブリットの総合防災訓練を実施
東羽衣小学校の「防災の集い」や各種団体の会合等において、「イザ！カエルキャラバン！」のコンテンツの活用が進んでいる
大阪府助産師会・高石市保健医療センターと、災害時等において母子支援や避難所での妊産婦や乳児受け入れの協力避難所となる協定を締結した。また、それを契機にはじめて出産を迎える妊婦とパートナーを対象にパパママ防災訓練を開催し、令和8年度も引き続き訓練を開催

ご縁のあった鳥取県倉吉市、湯梨浜町と災害時に人的・物的、被災者の受け入れ等の支援等を行う「災害時相互応援協定」を締結
令和8年度は市制施行60周年を迎え、より「自助・共助」を推進できるよう防災シンポジウムを開催し、それを契機に、避難所開設・運営の要素を取り入れた訓練を開催

令和7年度の主な訓練実施事例

- ・総合防災訓練（「イザ！カエルキャラバン！」）
- ・新米パパママ防災訓練
- ・各自主防災組織における初期消火訓練等の支援
- ・災害対策本部訓練
- ・新規採用職員の避難所開設訓練
- ・大阪府LPガス協会との避難所におけるLPガス復旧訓練 など

4 [新]事業始動

避難所機能の充実

J-アラートにより発表される震度5弱以上の緊急地震速報や津波警報等により**自動的に解除される遠隔解錠式の鍵収納ボックスを一時避難所19ヶ所に順次整備**を行い、令和8年の出水期ごろからの運用に向け進める
また、導入完了後は、幅広く周知に努め、誰もが安心して避難できる環境を整備する

5 [新]事業始動

消防体制の強化

施設の老朽化に加え、男女双方に配慮した労働・衛生環境の向上の確保が課題となっている高師浜出張所について、複雑多様化する災害に対した確かな消防活動を行う必要があることから、**令和10年度中の運用開始を目標に、令和8年度から建築工事**を進める

結団20周年を迎える消防団は、放水訓練はもちろんのこと、大規模災害を想定した救助資機材等を使用した訓練や住民等に対する救命講習などを行っており、訓練等に参加している市民に対し、消防団の役割や活動の重要性について周知を行っているそれにより若年層の入団が増加しており、活性化が図られている

また、令和7年度に今までの功績が認められ、他の模範となる消防団として表彰や消防庁から、新たに救助用資機材を搭載した車両の無償貸与が決定

6 [継]着実推進

連続立体交差事業
南海中央線整備事業

令和7年10月に南海本線・高師浜線の関連側道整備の一部区間が開通

令和9年度の事業完了（※堺連立との重複区間を除く）に向けて早期開通を目指す南海中央線について、令和9年度に東羽衣地区の開通を目指すとともに、同第2地区も計画的に用地買収を進める



↑ 連続立体交差事業
↓ 南海中央線整備事業



7 [継]着実推進

防犯、消費生活について

特殊詐欺対策について、高齢者に対する自動通話録音装置の無料貸出や特殊詐欺対策機器の購入補助、包括連携協定を締結している市内郵便局のATMにセンサー付き音声装置を設置
消費生活センターについて、デジタル化により複雑化、高度化した消費者トラブルや消費生活相談に対応するため、相談体制の充実を図る

8 [継]着実推進

安心安全な下水道事業政策を

全国的な懸案事項となっている下水道管渠等老朽化対策として、国の補助金を活用しながら管渠や施設の調査を行い適切な維持管理に努める

令和7年度は大口径下水道管渠約4kmの調査を実施し、その結果、軽度の修繕が必要な2箇所については対策工事を実施する
令和8年度からは西取石5、7丁目の汚水管改築更新工事、高石・羽衣両ポンプ場の改築更新工事をすすめる

集中豪雨による浸水被害の軽減対策として、現在整備中である清高小学校付近に敷設している管渠の上流側を整備と併せて**取石5丁目の浸水軽減を図るための雨水整備**に取り組む



↑ R7年度から浸水被害軽減のための雨水整備



↑ R8年度に浸水被害軽減のための雨水整備

1 [継]着実推進

公園機能の最適化を進める

令和8年度は、公園施設最適化プラン策定において実施したワークショップで得られた多様な意見を踏まえ、公園の改修の計画策定を進めていく

また、植樹イベントの実施を通じて、公園への親しみや愛着の醸成を図るとともに、**公園で活動する人材の発掘**に取り組む

市民アンケート、ワークショップ等の意見を反映する公園改修計画の策定

小さい子ども向けの遊具がある公園／見通しよく安心して遊べる公園／屋根や人工芝が整備された公園／ボール遊びができる公園

公園への親しみや愛着の醸成に向けた取組

大歳公園、八幡公園、北公園において、サークルベンチの整備と併せて植樹イベントの実施

蓮池公園については、引き続き用地買収に取り組み、早期事業実施を図るとともに、説明会やアンケート調査等で頂いた貴重な意見を踏まえ、公園を利用する人々が交流し憩える場の実現に向け、供用開始まで進めていく

2 [継]着実推進

旧市民会館・図書館の活性化

令和7年12月に「大阪府・高石市まちづくり連携協議会」を大阪府と協働設置し、隣接する府立臨海スポーツセンターとの一体活用の検討が開始した

民間活力による魅力的な施設の誘致を目指し、**令和8年度中に基本構想案の策定**を進める

3 [新]事業始動

空き家を地域の資産へ

空き家は、防災・防犯上の課題にとどまらず、コンパクトな市域を有する高石市においては、人口減少社会の中で住宅ストックが有効に活用されず、新たな住宅供給や住み替えの円滑化が滞る要因となる

また、適切に管理されていない空き家は、街並みや景観の質を低下させ、地域の魅力やイメージを損なうとともに、近年活況を呈している中古住宅市場において、本来活用可能な住宅資源が十分に生かされていないという課題も生じてくる

特定空家等に至ることを未然に防ぐため、**令和7年度には特定空家および管理不全空家の指定を行い**、適切な対応を進めている

あわせて、令和9年度の空家等対策計画の更新に向け、令和8年度には空き家の実態調査を実施する

さらに、空き家の活用・流通を促進するために**子育て世帯や若者世帯等の新たな暮らしのスタートを支援する施策、空き家所有者の適切な相続登記手続きや老朽空き家の除却を促し支援する**以下の施策を展開する

事業名	補助額	目的
新規 空き家購入補助制度	1件当り 最大200万円 (府内トップ)	空き家の流通、子育て・若年者世帯の定住促進を図るため新たに創設
新規 相続登記費用の補助	1件当り 最大10万円	空き家の流通を促進するため新たな補助として創設
新規 不要物撤去費用の補助	1件当り 最大10万円	空き家の流通を促進するため補助額を拡充
拡充 空き家除却補助	1件当り 最大100万円	旧耐震基準による空き家の除去補助を拡充し支援する

4 [新]事業始動

ふるさと寄附金

今まで順調にふるさと寄附の確保に向けて進捗を続けているが、さらなる自主財源の確保に向けて「プロスポーツチーム等支援事業」と「ふるさと産品創出事業」を実施

■プロスポーツチーム等支援事業

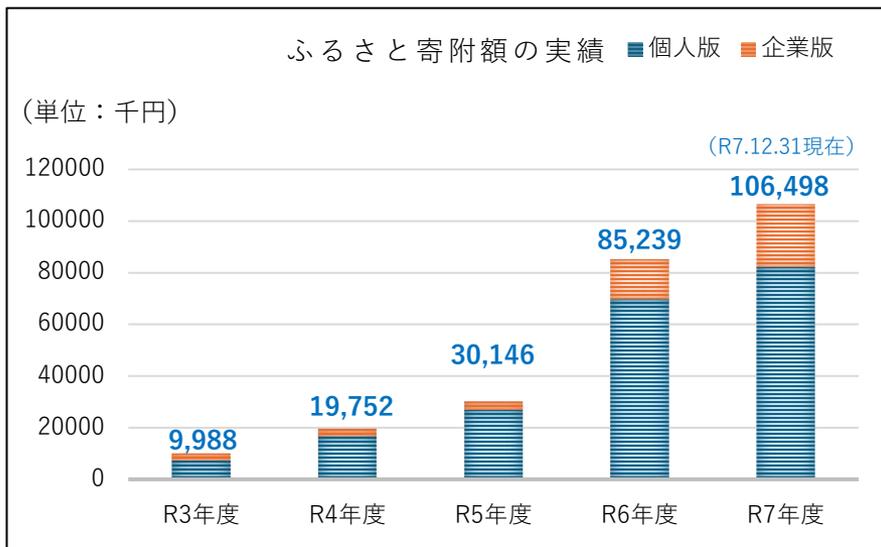
プロスポーツチーム等との連携を通じ、こどもたちの健全育成をはじめ、地域の賑わい創出やシビックプライドの醸成を図る

■ふるさと産品創出事業

事業者からの提案を公募・審査し、採択された事業に対して、クラウドファンディング等により集まった寄附金を原資として補助金を交付し初期投資を支援し、**新たなふるさと産品を創出**する

■福利厚生型ふるさと納税

福利厚生制度を活用し、地域事業者の従業員が高石市内で利用いただける飲食チケット等を返礼品とすることで、**ふるさと寄附額の増加と市内飲食店の活性化**につなげる



5 [継]着実推進

公民連携で社会課題の解決を

空き家等の利活用に向けた不動産事業者との連携、シェアサイクルの実証実験等を実施しており、昨年のおおさか万博におけるアートイベントでは映像作品の作成や当日の会場運営、作品の募集等で多くの企業や大学、専門学校、アーティストと連携することで大盛況の成果が得られた

相談窓口となる「高石市公民連携デスク」が中心となり、最適な連携先や手法を伴走しながら検討し、マッチングの実現可能性を高める

〈R6,7年度の連携協定一覧〉

年度	協定名
R6	高石市と帝塚山学院大学との包括連携に関する協定
	災害時等における車両の移動等に関する協定
	高石市と阪神高速道路株式会社との地域活性化等に関する連携
	災害発生時の支援物資の緊急・救援輸送、保管等に関する協定
	災害時における物資調達に関する協定
	損害調査結果の提供及び利用に関する協定
	高校包括連携協定
	高石市空家等利活用支援業務にかかる協定
	高石市シェアサイクル事業の実証実験に関する基本協定
	災害時における母子支援に関する協定
R7	高石市空家等利活用支援業務にかかる協定
	良好な住環境の形成に関する連携協定

6 [継]着実推進

高石駅周辺整備について

高石駅には、アプラたかいしに図書館やホールなどの文化施設、子育て支援施設のハグッドや商業施設などが集積
さらに利便性と価値の向上に資するため、高石駅北側高架下整備を南海電気鉄道株式会社と連携し、**多世代が交流・滞在し活躍する場**を目指し実施設計を進める
高石駅前広場では、さらなる利用促進を図るため駅前広場の利用手続きを見直し、活用環境の改善を目指す



7 [継]着実推進

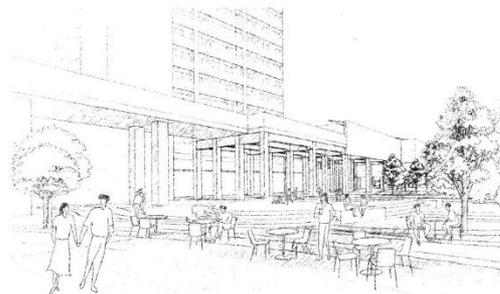
高石駅西土地区画整理事業の廃止に向けて

平成8年度に連続立体交差事業と併せて区画整理事業を位置付けたものの、地域での合意形成や膨大な事業費などの諸課題から地域の方々との勉強会などを通じて廃止を行う方針を立てた
先行買収地のあり方などについて検討を進め高石駅西地区の環境改善に努める

8 [継]着実推進

羽衣駅周辺整備について

令和7年度から引き続き、エリアマネジメントを見据えた市民参加型のワークショップや社会実験を通じて実施設計を進め、**令和10年度中の駅前広場の供用開始**を目指す
これらのワークショップにおける市民同士の交流を背景として、七夕祭りをはじめ、地域活動を担う市民による日常的なイベントが自発的に開催されるなど、地域における居場所づくりの活発な展開が進んでいる
今後も、市民が主体的に使いこなす駅前広場の創出を通じて、駅周辺のさらなる活性化を図る



— 駅西側イメージ —



9 [継]着実推進

富木駅周辺について

現在、西日本旅客鉄道株式会社と対話を重ねている状況にある
引き続き、同社と富木駅周辺の環境改善に向けて鋭意取り組む

1 [継]着実推進

エネルギーの地産地消を目指す
エネくる泉北の推進

令和7年6月に全国初となる一部事務組合での地域新電力会社「株式会社エネくる泉北」を設立
令和8年度中に**公共施設への直接供給を開始**し、社会情勢に左右されないグリーン電力の供給、エネルギーの地産地消、地域脱炭素に向けた取り組みを推進

〈R5~R7※1の実証事業における電気料金とCO2排出量の比較〉

高石市の実績	電気料金	CO2排出量
大手電力会社（想定）	307,510千円	3,269t-co2
パシフィックパワー※2	297,809千円	0t-co2
削減率	3.15%	100%

※1 R7年度は12月実績まで
※2 実証パートナー（当該事業者と泉北環境整備施設組合の共同出資により、令和7年6月に株式会社エネくる泉北を設立）

2 [継]着実推進

太陽光発電設備や蓄電池の設置補助

令和7年度から国の重点対策加速化事業の採択を受け、2050年のネットゼロに向けて**個人・事業者向けの太陽光電池等の設置補助を開始**
開始したのが年度途中にもかかわらず、個人向けについては予算の9割が執行見込みであるなど、市民協働で地域の脱炭素化をより一層加速していく

3 [新]事業始動

たかいしクリーンアップキャンペーンの実施

市制施行60周年という大きな節目を迎えるにあたり、文化芸術やスポーツの振興を一層推進していくためには、その土台となる街の景観や環境の質を高めていくことが不可欠
しかしながら、依然としてゴミのポイ捨てや路上喫煙禁止区域における喫煙・吸い殻の投棄などが散見されており、街の魅力やイメージを損なう要因となっている
このため、市民一人ひとりが「自分たちのまちを自分たちで守り、育てる」という意識を共有し、市民・地域団体・行政が一体となった街の美化活動をこれまで以上に強化することで、誇りと愛着を持てるまちづくりを推進

- ・清掃活動が**見える化できるごみゼロアプリ**を活用した市民・団体参加型キャンペーンの実施
 - ・主要駅周辺や駅前広場でのポイ捨てが問題となっていることから、**夏期夜間の見回り強化**
 - ・市民の清掃活動を促進させる取り組みを展開（学校とともに）
 - ・既存の落書き消去活動事業の周知も高める
- こうした取組を通じ、市域全体の環境美化活動が持続可能なものになるよう進める



清掃活動記録（いつ、どこで、何をどのくらい拾ったか）をアプリ内で見える化
出典：ごみゼロ共創ネットワーク資料



4 [継]着実推進

地域コミュニティの取組

地域組織の活動や住民同士の関係性が希薄化・弱体化している状況を踏まえ、新たな担い手の発掘や活動の継続・発展を支援するため、**令和6年度から地域コミュニティ再生支援事業補助金を創設**し、多様なイベントが各地域で実施された

主な開催実績

千歯こき実体験イベント	高石発祥の農具を使って脱穀作業を体験
だんじり曳行体験	だんじりを実際に曳いて、祭りの魅力を体験
世代間交流料理イベント	料理を通して世代をこえたふれあいを体験
こども音楽フェスティバル	楽器体験や演奏鑑賞を通して音楽の楽しさを体験



令和8年度は、地域活動における連携を一層深めるため、**複数団体が取り組む合同事業を対象とした新たな補助制度を創設**し、各団体が培ってきた経験・知識・人材の共有を促進することで、単独では生まれにくい新たな発想や取組の創出を図り、コミュニティのさらなる活性化につなげる

5 [継]着実推進

砂浜活性化プロジェクト

高石市はかつて、高師浜として白砂青松の景勝地であり、万葉集や百人一首にも詠まれた全国的に知られていた一方、経済成長期には臨海部の埋立てにより工業地帯が形成され、往時の景観は大きく姿を変えた
だからこそ、浜寺運河をはさみ、市域の約半分を占める工場地帯と住宅地が共存する特性を生かし、**経済と環境が共生するロールモデルの構築**に向けて、挑戦を続けていく

開催実績※予定含む

主な取り組み

第1弾	R6.8.22	清掃活動など
第2弾	R6.11.10	キジハタ、ナマコ放流など
第3弾	R7.3.30	アマモ移植イベントなど
第4弾	R7.6.28	漁青連による炊き込みご飯提供 おさかな塗り絵アートなど
第5弾	R7.10.4	海洋ゴミアート、生き物観察など
第6弾	R8.3.20※予定	

各回ボランティア等による清掃活動を実施

令和8年度からは**公民連携による水質改善など環境に関する新たな取り組みを実施**するなど、さらなる砂浜の活性化を図る

6 [継]着実推進

自治体DX

これまで、コンビニ交付の導入、LINEの活用、電子申請システムの導入などを推進してきた

令和8年度もさらに自治体DXを推進し、業務の効率化と市民の利便性向上の両立を図る

令和8年度実施予定：**文化施設の予約システム導入、戸籍コンビニ交付導入**、生成AI活用

7 [継]着実推進

人材の確保・育成・定着

■ 確保について

職員採用試験の選考方法をゼロベースで見直し、PR動画による試験など新たな手法を採り入れ、より人物重視の選考を本格的に進めてきた

専門的知識や高度な技能を有する技術職や保育士といった専門職人材の採用にも重点的に取り組んでおり、**専門職の職員とともに母校を訪問する**など、本市で働くことの魅力について積極的なPR活動を行っている

なかでも昨今の保育ニーズの高まりを踏まえ、保育士の安定的な確保に継続して取り組んでいる

令和7年度は夏季及び冬季の二度にわたり、保育士の職員採用試験を実施し、対象年齢を拡大するなど間口を広げた結果、多くの方々からの応募があった



↑ 専門職職員の母校でのPR活動の様子

■ 育成について

高石市人材育成基本方針に基づき、職員の人材育成にも積極的に取り組んでいる

現在、全職員を対象にアンケートを実施し、令和8年度施行に向け、職員生の声を採り入れた新たな人材育成基本方針の改定を予定

これまでにも市長自らが講師となり職員の主体性向上を目標に掲げた研修を年間を通じて実施

令和8年度以後も従来の枠組みにとらわれず、研修やOJTを通じて引き続き長期的な視点で計画的な人材育成に取り組んでいく

XDC (neXt stage Design Course) 次世代の社会をデザインできる人材に向けての研修の様子 →

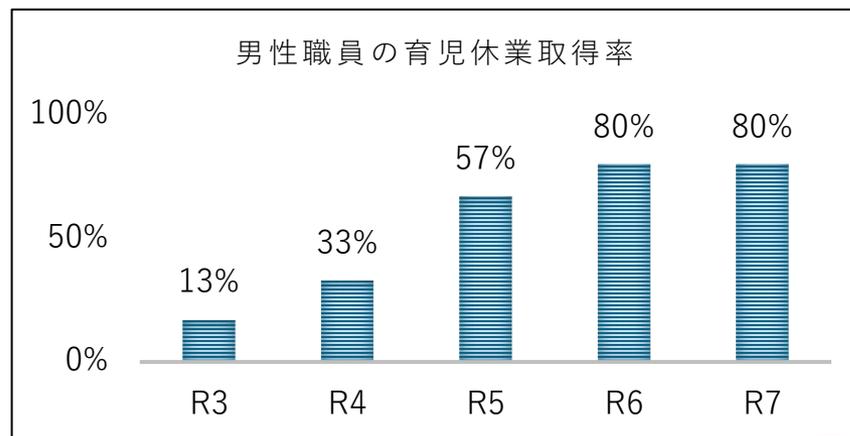


■ 定着について

人材育成の充実や個々の能力や特性を活かした適材適所の人員配置を進めるなど戦略的な人事行政を推進し、職員一人ひとりが成長を実感できる職場環境の整備を通じて、採用後における人材の定着を図ることに努めている

質の高い行政サービスを持続的に提供していくため、市自らが率先して働き方の見直しを実行する観点から職員のワークライフバランスの実現にも取り組む

育児や介護の両立がしやすいよう休暇制度を整えたことにより、近年、**男性職員の育児休業の取得率は大幅に向上**今後引き続き職員が働きやすい職場環境の整備に向けて取り組む



9. 予算編成にあたっての考え方

① 財政の危機認識

- R6年度に市長タウンミーティングを開催
- ・ R7年度以降、構造的赤字見込み
 - ・ R10年度には財政調整基金が枯渇し、予算編成ができない状態に

② 財政の持続可能性を高める

1. 公共事業の平準化・起債抑制による公債費縮減
2. 稼げるまち
ふるさと納税強化 など
3. 事務事業総点検
コンサル委託の内製化 など

③ 国の動向と想定しておくべき外部環境リスク

- インフレ進行
建設費・資材費・物件費・人件費の高騰
扶助費の自然増
- 円安の長期化
エネルギー、輸入資材価格の上昇
公共事業費や指定管理料への波及
- 国の財政政策の変動リスク
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は
時限措置
消費税減税や暫定税率廃止による税収減
- 社会保障関係費の増大
高齢化進展に伴う国費・地方負担の増加

今後の方針

今後の行財政運営において最も重要なのは、自治体としての**自立性を高めること**である

国の財政政策や経済情勢による影響を最小化するよう未来を描ける自治体へと進化していく必要がある
その基盤となるのが、**財政（自治体の体力）と人材（自治体の推進力）**

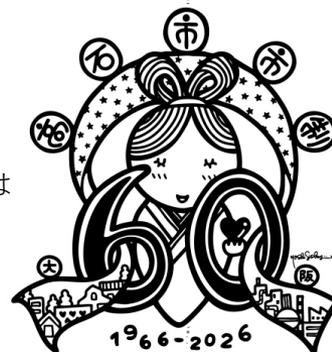
今までの財政改革に加えて、高石市という**街のリブランディング（街の価値を再構築）**を進める

高石市という街の価値を最大化させ、「選ばれるまち」へと進化させるために、5つのビジョンを掲げ、それらを推進する

1. 人口減少の歯止め政策と適応政策の展開
2. 将来の担い手に縦糸を紡ぐ
3. 文化芸術・スポーツをまちの鼓動にする
4. 自然と経済の共生モデルを構築
5. 居場所と役割が感じられる社会作り

行政だけで成し遂げられるものではなく、議員や市民の皆様、事業者の皆様、そして多様な主体とともに、官民一丸となって取り組むことで、持続可能で自立した高石市を築き上げる

高石市長 畑中政昭



音にきく60回目のありがとう